

## 平成20年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,184	18,255	△ 928	(注1)
施設整備費補助金	3,068	3,429	361	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	185	452	267	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	82	82	0	
自己収入	29,855	30,899	1,044	
授業料、入学料及び検定料収入	7,974	7,912	△ 61	
附属病院収入	21,540	22,518	978	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	341	468	127	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,232	4,564	332	(注6)
引当金取崩	130	178	48	(注7)
長期借入金	1,438	1,322	△ 115	(注8)
貸付回収金	1	0	△ 1	
承継剰余金	40	20	△ 19	(注9)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	904	1,035	131	(注10)
計	59,119	60,240	1,121	
支出				
業務費	46,139	46,606	467	
教育研究経費	24,012	22,866	△ 1,145	(注11)
診療経費	22,127	23,739	1,612	(注12)
一般管理費	1,591	1,436	△ 154	(注13)
施設整備費	4,588	4,801	213	(注14)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	185	449	264	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,229	4,313	84	
貸付金	4	3	△ 1	
長期借入金償還金	2,383	2,361	△ 21	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	59,119	59,972	853	
収入-支出	0	268	268	

## ○ 予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額928百万円を含んでいたが、平成20年度に措置された予算の範囲内で賄われたため、予算額に比して決算額が928百万円少額となっています。

(注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった、国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が361百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった、国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が267百万円多額となっています。

(注4) 附属病院収入については、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が978百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として実費見合等収入等により、予算金額に比して決算金額が127百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究等の増加等により、予算額に比して決算額が332百万円多額となっています。

(注7) 引当金取崩については、人件費削減による予算額の減少等により、予算金額に比して決算額が48百万円多額となっています。

(注8) 予算段階では予定していなかった、借入不用額が発生したため、予算額に比して決算額が115百万円少額となっています。

(注9) 承継剰余金については、予算段階では予定していなかった支払いのため、予算額に比して決算額が19百万円減額となっています。

(注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を計画したため、予算額に比して決算額が131百万円多額となっています。

(注11) 教育研究経費については、人件費削減、退職給付の予算額に対する減少等により、予算金額に比して決算金額が1,145百万円少額となっています。

(注12) (注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,612百万円多額となっています。

(注13) 管理費の削減に努めた結果、予算額に比して決算額が154百万円少額となっています。

(注14) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が213百万円多額となっています。

(注15) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が264百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。